

技術名：家畜の分娩監視装置

富山県農林水産総合技術センター
畜産研究所 連絡先 076-469-5921

分娩監視装置 型式 BK-1 特許出願中!

新しい分娩監視システム「モー安心」の誕生です!



子牛の出産直前にお持ちの携帯 (FOMAに限ります) に
動画像・音声を送り、季節を問わず安心・確実に分娩を監視します。

***** 分娩監視の流れ *****



① 膣に挿入



② 分娩時に排出



① 分娩感知センサーを分娩予定牛の膣内に挿入します。

② 分娩開始により分娩感知センサーが体外に排出されます。

③ センサーが温度と照度の変化を感知し、送受信機に信号を発信します。

④ 携帯電話にリアルタイム動画が自動送信され、テレビ電話ボタンを押すと動画像が見れます。

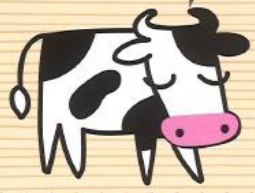
⑤ 携帯電話から送受信機に電話を入れる事により、現在の牛の状態を見たり、音声を聞く事が出来ます。



送受信機

④ ↓ ↑ ⑤

必要に応じて、携帯電話を操作し、ライトの点灯・消灯などの制御が可能です。



携帯電話

(「分娩監視システム」は、富山県農業技術センター畜産試験場と日本エレクトロニクスサービスとの共同開発によるものです)
注記:分娩感知センサーを挿入する時は、衛生面に十分気をつけて行って下さい。



特長

- 身近な携帯電話を利用するので、24時間監視することが可能になり、畜舎での拘束時間が短縮されます。
- 携帯電話は操作が容易で、コンピューターやネットワークの知識は不要です。
- 分娩開始を感知し、知らせてくれるので、分娩当日の事故を防ぐことができます。
- 万一、分娩感知センサーの誤排出が発生した場合も、その場で動画による状況確認ができ、無駄足を踏まずに済みます。
- 外気温が高く、温度変化を感知できない場合に備え、照度センサーも併用して感知精度を高めています。
- 夜間の分娩監視の為に、ライトを点灯することが出来ます。

分娩監視の重要性



無事に分娩して初めて牛乳、後継牛が生産されます。

分娩当日の事故状況

※子牛共済加入牛のみ集計



乳牛出生頭数:184,842頭
(2004年4月～11月)

乳牛出生頭数:1,600頭
(2004年4月～2005年3月)

構成内容

■分娩感知センサー

- 温度センサー ●照度センサー
- 送信機

(電源) ボタン電池 (CR2032)

■送受信機

- 受信機 ●携帯電話用モニタリング装置
- 照明用 外部出力端子

(電源) AC100V

■分娩監視装置ご利用について

- 本製品をご利用いただくには、携帯電話 (NTTドコモテレビ電話対応FOMA) 及び、カードタイプFOMA (NTTドコモテレビ電話対応PCカード一体型FOMA) が別途必要になります。(下記に記載したものをご準備下さい。)

●携帯電話



※NTTドコモテレビ電話対応FOMAであればどのメーカー及び機種でもかまいません。

●カードタイプFOMA 形式 P2403 (FOMAプラスエリア対応機種)



※カードタイプFOMAには右記記載の形式の他にP2402・F2402の2種類がありますが、FOMAプラスエリアの使用ができませんのでご注意ください。